

| | |
|-------------|---------------|
| 地域連携 | 早期体験学習 |
|-------------|---------------|

[演習] 第1学年 通年 必修
 [授業方法：SGD、PBLを含む]
 2単位

《担当者名》教授 / 中川 宏治
 教授 / 二瓶 裕之
 教授 / 前田 直良
 准教授 / 小田 雅子
 講師 / 久保 儀忠
 講師 / 高村 茂生
 特別講師 / 石丸 竜大 ((株)フロイン調剤)

教授 / 浜上 尚也
 教授 / 足利 俊彦
 准教授 / 近藤 朋子
 講師 / 水野 夏実
 助教 / 平出 幸子

講師 / 木村 治
 教授 / 鈴木 一郎
 准教授 / 新岡 丈治
 講師 / 姫嶋 瑞穂
 助教 / 藤崎 博子
 特別講師 / 秋野 光明 (日本赤十字社)

教授 / 笠師 久美子
 准教授 / 町田 拓自
 講師 / 金 尚永
 講師 / 岩尾 一生
 助教 / 窪田 篤人

【概要】

薬学生として6年間の学修のモチベーションを高めるために、将来活躍する場となる医療現場（病院、調剤薬局）や関連施設で勤務している薬剤師からの講義を通して、社会における薬剤師の役割や職務の重要性について学修内容から討論し、それらをまとめて発表する。

本学習の目的は、薬学生として自分の将来目標を達成するために、薬剤師として活躍すべき場所がどのような環境にあり、どのような社会的役割を果たすのか、そしてその目的に向かってどのような学修が必要であるかを様々な施設（現場）を訪問し、体験学習することによって実感することにある。医療現場で活躍するためには、それを裏づける様々な能力が必要である。それらの能力を身につけ、目標を達成するためのモチベーションを高めるために、現場の体験学習が6年間の学修の礎となるように積極的に取り組み、個々人の目標とする将来像について議論する。

【学修目標】

薬剤師が医療及び社会全体に果たす役割についてきちんとした認識を持ち、あわせて薬学の現状、将来についても正しい認識を有し薬剤師を目指す心構えを身につける。

【学修内容】

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---|--|---|---|
| 1 | 1. ガイダンス 2. 事前学習 (1): マナーに関するワークショップ | <p>早期体験学習の授業内容と授業の進め方について明 できる。</p> <p>患者・生活者の視点に立って、様々な薬剤師の業務 を見聞し、その体験から薬剤師業務の重要性について 討議する。(知識・態度)</p> <p>施設訪問時のマナーについて説明・討論できる。</p> <p>【SGD】10名程度のグループに分かれて、訪問の際の マナーについてSGDを実施する。</p> <p>学習内容に関する課題について各自でまとめ、レポー トを提出する。</p> <p>関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標 B-3-1 1)~5)</p> | 中川 宏治 小田 雅子 二瓶 裕之 浜上 尚也 木村 治 笠師 久美子 足利 俊彦 近藤 朋子 平出 幸子 |
| 2 | 一次救命処置 | <p>一次救命処置（心肺蘇生、外傷対応等）を説明し、 実施できる（知識・技能）。</p> <p>学習内容に関する課題について各自でまとめ、レポー トを提出する。</p> <p>関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標 B-3-1 1)~5)</p> | 浜上 尚也 中川 宏治 平出 幸子 木村 治 二瓶 裕之 |
| 3 | 事前学習 (2): 保険薬局での体験学習へ向けての事 前学習 | <p>保険薬局を訪問するに当たっての注意事項の伝達。 保険薬局における薬剤師の業務の特徴、地域医療に おける薬剤師の役割を説明・討論できる。</p> <p>【SGD】10名程度のグループに分かれて、保険薬局に</p> | 石丸 竜大 中川 宏治 浜上 尚也 木村 治 二瓶 裕之 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|-------------|-------------------------------------|--|---|
| | | <p>おける体験学習についてSGDを実施する。</p> <p>学習内容に関する課題について各自でまとめ、レポートを提出する。</p> <p>関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標 B-3-1 1)～5)</p> | 前田 直良 町田 拓自 近藤 朋子 新岡 丈治 金 尚永 水野 夏実 姫嶋 瑞穂 藤崎 博子 窪田 篤人 |
| 4) 5 | 保険薬局訪問 | <p>訪問した施設の特徴、地域での役割を説明できる。 【PBL】1組2～3名程度に分かれ、保険薬局を訪問し、事前学習に基づき体験学習する</p> <p>関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標 B-3-1 1)～5)</p> | 中川 宏治 浜上 尚也 木村 治 二瓶 裕之 前田 直良 町田 拓自 近藤 朋子 新岡 丈治 金 尚永 水野 夏実 姫嶋 瑞穂 藤崎 博子 窪田 篤人 |
| 6 | 事前学習 (3): 病院での体験学習へ向けての事前学習 | <p>病院を訪問するに当たっての注意事項の伝達。 病院薬局における薬剤師の業務の特徴、チーム医療における薬剤師の役割を説明・討論できる。</p> <p>【SGD】10名程度のグループに分かれて、病院薬局における体験学習についてSGDを実施する。</p> <p>学習内容に関する課題について各自でまとめ、レポートを提出する。</p> <p>関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標 B-3-1 1)～5)</p> | 岩尾 一生 木村 治 浜上 尚也 中川 宏治 二瓶 裕之 笠師 久美子 前田 直良 近藤 朋子 高村 茂生 平出 幸子 窪田 篤人 |
| 7) 8 | 病院薬局訪問 | <p>訪問した施設の特徴、地域での役割を説明できる。 【PBL】10名程度のグループに分かれ、病院薬局を訪問し、事前学習に基づき体験学習する</p> <p>関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標 B-3-1 1)～5)</p> | 岩尾 一生 木村 治 浜上 尚也 中川 宏治 二瓶 裕之 笠師 久美子 前田 直良 近藤 朋子 高村 茂生 平出 幸子 窪田 篤人 |
| 9 | 事前学習 (4): 薬剤師関連施設での体験学習へ向けての事前学習 | <p>薬剤師関連施設の説明を受ける。 薬剤師関連施設を訪問するに当たっての注意事項の伝達。 薬剤師関連施設における薬剤師の業務の特徴や、薬剤師関連施設の現状を説明・討論できる。</p> <p>【SGD】10名程度のグループに分かれて、薬剤師関連施設における体験学習についてSGDを実施する。</p> <p>学習内容に関する課題について各自でまとめ、レポートを提出する。</p> <p>関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標 B-3-1 1)～5)</p> | 秋野 光明 中川 宏治 二瓶 裕之 浜上 尚也 木村 治 足利 俊彦 鈴木 一郎 前田 直良 近藤 朋子 金 尚永 水野 夏実 久保 儀忠 高村 茂生 |

| 回 | テーマ | 授業内容および学修課題 | 担当者 |
|---------------|------------------------|---|--|
| 10) 11 | 薬剤師関連施設訪問 | 【PBL】40名程度のグループに分かれ、薬剤師関連施設を訪問し、事前学習に基づき体験学習する 関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標 B-3-1 1)～5) | 中川 宏治 二瓶 裕之 浜上 尚也 木村 治 足利 俊彦 鈴木 一郎 前田 直良 近藤 朋子 金 尚永 水野 夏実 久保 儀忠 高村 茂生 |
| 12) 13 | 早期体験学習のまとめ及び発表会に向けての準備 | 発表会に向けての準備についての伝達。 発表資料の作成、予行演習 早期体験学習で学んだ内容について討論し、まとめを行うことができる。 【SGD】10名程度のグループに分かれて、早期体験学習で学んだ内容について討議し、まとめを行う。また、討議した内容をポスター形式で発表するための準備（ポスター作成、発表の予行演習）を行い、完成したポスターを提出する。 関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標 B-3-1 1)～5) | 中川 宏治 二瓶 裕之 浜上 尚也 木村 治 笠師 久美子 鈴木 一郎 足利 俊彦 前田 直良 小田 雅子 近藤 朋子 新岡 丈治 町田 拓自 金 尚永 久保 儀忠 岩尾 一生 姫嶋 瑞穂 水野 夏実 高村 茂生 藤崎 博子 平出 幸子 窪田 篤人 |
| 14) 15 | 発表会 | 早期体験学習で学んだことについて、作成したポスターを用いて発表し、その内容について質疑討論を行うことができる。 早期体験学習の授業全般を通じて学習した内容について各自でまとめ、レポートを提出する。 授業アンケート調査を実施する。 関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標 B-3-1 1)～5) | 担当者全員 |

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習態度 30%、レポート 60%、発表内容及び発表態度 10% により評価する。

PBL及びSGDにおいては、10人1組の各グループごとに担当教員がチューターの役割を果たす。

【備考】

毎時間PCを持参すること。

【学修の準備】

各施設を訪問するに先立ち、自分が訪問する施設に関する事柄を、資料やネット等を使い詳しく調べておき、体験学習を有意義なものにする(60分)。また、医療施設のVR映像を想定し、各施設訪問で確認したい点や疑問点を整理したうえで、訪問実習に備える(40分)。

【関連するモデル・コア・カリキュラムの到達目標】

B-3-1 地域の保健・医療 1)～5)

【薬学部ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

1. 医療人として求められる高い倫理観を持ち、法令を理解し、他者を思いやる豊かな人間性を有する。
3. 多職種が連携する医療チームに積極的に参画し、地域的及び国際的視野を持つ薬剤師としてふさわしい情報収集・評価・提供能力を有する。